

2021年10月6日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

事業活動における「環境方針」を刷新

～ グループで2030年までに自社の温室効果ガスを40%削減する目標を設定～

日興アセットマネジメント株式会社(以下、「日興アセット」)は、このたび、日興アセットマネジメントグループ全体の事業活動における環境への影響を配慮した取り組みを定めた「環境方針」を刷新し、グループ全体の自社の温室効果ガス排出量や数値目標を設定しました。

日興アセットマネジメントグループでは、以前より、お客様の利益を最優先に行動することを使命とし、資産運用会社としての受託者責任とサステナビリティを追求し、事業活動を行っています。世界的に脱炭素化の流れが進む中、特に環境・気候に関するリスクが世界的な脅威であることを認識しており、今後も当社グループが事業を営む地域社会において、環境に対する負の影響を最小限にとどめることが不可欠だと考えます。

このたび「環境方針」を刷新し、自社の温室効果ガス排出量の中長期的な削減目標を設定することで、さらに環境に配慮した取り組みを推進します。

今回刷新された「環境方針」では、以下の領域に注力します。

1. 当社グループが事業を行う国・地域の環境に関する法令や諸規則の遵守
2. 2030年までに従業員一人あたりの温室効果ガス排出量を2019年比で40%削減することを目標※に設定、定期的な進捗のモニタリングおよび報告
※Greenhouse Gas Protocolの定義するScope 1、2の自社による直接・間接排出(燃料の燃焼・供給電力等のような排出)、及びScope 3の一部の間接排出(Scope 1,2)に含まれない燃料・エネルギー活動と出張による排出を対象とする。Greenhouse Gas Protocolは、国際的に認められたGHG排出量の算定と報告の基準を開発・促進するために設立された国際イニシアチブ。
3. 「3R(リデュース・リユース・リサイクル)」の精神に則った事業活動における資源効率の追求
4. 環境に配慮した業者選定や製品購入
5. オフィスでの使い捨てプラスチックの削減
6. 自然環境における生物多様性の保護
7. 年次「サステナビリティ・レポート」や「TCFD※レポート」を通じた自社の環境データや取り組みの開示の充実
※気候変動が企業業績や財務に及ぼす影響の分析・開示を求める「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」の提言に沿った活動状況報告書
8. 環境課題について社内コミュニケーションや社員教育の推進および当社グループの目標に沿った外部イニシアチブへの参加

日興アセットマネジメントグループの「環境方針」の詳細については、公式HPをご覧ください。

<https://www.nikkoam.com/about/otherpolicies/environmental>

以上

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表する資産運用会社です。株式、債券、オルタナティブ、マルチアセットなど多様な資産クラスを対象とするアクティブ運用や ETF(上場投資信託)を含むパッシブ運用など、革新的な投資ソリューションを提供しています。

日興アセットマネジメントは 60 年を超える実績を誇ります。約 25 の国・地域から集まる人材は多様性に富み、200 名超*の運用プロフェッショナルが約 31.3 兆円**の資産を運用しています。世界 11 カ国・地域***において事業を展開し、グローバルな視点を活かしてお客様のニーズにお応えする様々な商品を開発するとともに、優れた運用パフォーマンスの実現を追求しています。銀行などの金融機関、証券会社、生命保険・損害保険、ファイナンシャルアドバイザーなど、国内外の計 400 社超の販売ネットワークを通じ、個人投資家の皆様や年金基金や金融機関など世界中の機関投資家のお客様に対して幅広いサービスを提供しています。

詳しくは、日興アセットマネジメントの [HP](#) をご覧ください。

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2021 年 6 月末現在のデータ。

*** 日興アセットマネジメント株式会社、海外子会社および関連会社を含む。

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会:一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会